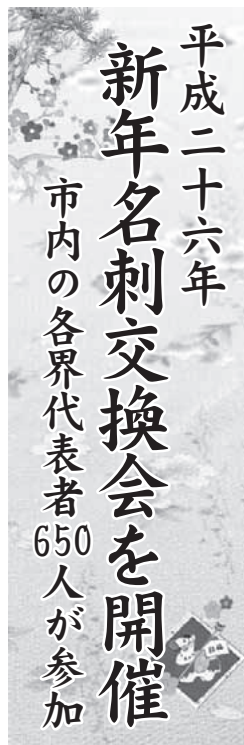




乾杯の発声を行う秋山会頭



1月7日、ホテル天地閣で恒例の新年名刺交換会を開催しました。この名刺交換会は毎年、当所と日立市が主催し市内の各界代表者が一堂に会して新年の挨拶を交わすもので、今年は650人が出席しました。

この日は、日立市の小川春樹副市長の開会のことは、国歌斉唱に続き主催者を代表して吉成明市長が「新しい年をご家族揃って健やかに迎えられたことと思ひ、心からお喜び申しあげたい。昨年を振り返ると政権交代があり、アベノミクスでやや経済が明るさを取り戻し、2020年の東京オリンピック開催決定と明るい話題



主催者を代表して挨拶する吉成市長



超満員の会場内では随所で新年の挨拶を交わす姿が見られた

もあつたように思う。本市を振り返ると昨年で震災復興計画の3年目で大型事業を除きハード、ソフト共にほぼ完了した。新庁舎建設と池の川の新体育館建設を今年度中に着工させ区切りをつけたいと思うので、引き続きご支援ご協力をお願いしたい。今年1年がみなさんにとつて災厄のない幸せな1年となりますことを心からご祈念申しあげると挨拶しました。

次に当所秋山光伯会頭による乾杯のあと祝宴に移り、国会議員の大畠章宏氏、石川昭政氏、岡田広氏、郡司彰氏、藤田幸久氏と地元選出の県議会議員による年頭の挨拶がありました。超満員の会場内では随所で新年の挨拶を交わす姿が見られました。

続いて行なわれた「初笑い抽選会」では、さくらメイツの諏訪麻郁さんが2等、1等、特等と抽選を行い、特等の日立製サイクロンクリナーを有限会社富士産業の勝山起一さんが当選し、特賞当選者の勝山さんによる万歳三唱で閉会となりました。



特等当選の勝山さんによる万歳三唱

7部会長座談会

● 座談会出席者 ●

商業部会長 氏 鈴木 一 良 氏
 工業部会長 操 治 男 潤 夫 氏
 建設部会長 田 本 山 内 濱 弥 沼 氏
 金融財務部会長 松 宮 松 河 高 大 小 氏
 観光環境部会長 洋 恒 秀 則 淳 氏
 交通運輸部会長 高 大 小 氏
 文化産業部会長 高 大 小 氏
 情報化委員会 鈴木 一 良 氏

「新たな環境変化を追い風にして ～ Good Innovation(より良き変化)を目指して～」

富士山の世界文化遺産登録や「お・も・て・な・し」戦略による東京オリンピック招致など社会・経済に上昇気流が吹いてきた2013年。2014年は消費税増税による景気への影響が懸念されます。このような中、誌上座談会は、各業界の代表として当所7部会(商業・工業・建設業・金融財務業・観光環境業・交通運輸業・文化産業)の部会長に業界の課題や2014年への想いをお話いただきました。(この座談会は昨年12月に開催しました。)



情報化委員会 鈴木一良氏
鈴縫工業株式会社 代表取締役社長

鈴木氏

皆様、今日はよろしくお願ひします。

2013年を振り返ると、注目を集めたアベノミクス効果が良い方向に向かいつつあり、経済効果に強い期待が持たれています。日立市においても、工業都市の要となる日立製作所内での大きな動きが始まり、新たな企業文化や生産システムが生まれるのではという希望に満ちた年になりそうですね。それぞれの部会では、それぞれの部会での

現状、課題、展望についてお聞かせください。

松山氏

安倍政権になっての景気対策が施され気分的には良い一年でした。震災復興も大きな区切りがついたかと思われませんが、資材の高騰、労務費の高騰があり仕事はありました。内容的にはあまり良い状態ではなかったと思います。公共施設に耐震補強などの仕事が出ましたが、ある程度長期的な戦略で発注をお願いできれば、我々も対応が上手く出来たのではと思っています。我々も建設業者ですので胸を張って言わせていただければ、日本の基幹産業の一部とと思っていますので、防災や減災に身を投じても復旧に尽力したいと考えています。

鈴木氏

震災復旧については職人不足という点が問題となっているようですね。

松山氏

長い間、公共投資は減少の一途を辿ってきたわけですので、転業、廃業する人が多く、若い人の採用が出来なかつた現状があります。長期的な戦略で安定的に予算を組んでいただければ若い人を育てられ、計画も立てやすいのです。今年は景気が良いから仕事をたくさん



建設業部会長 松山恒男氏
多賀土木株式会社 代表取締役会長

鈴木氏

業界も高齢化問題を騒いでいる。仕事が減るなかで、計画的な若手の育成ができていないのが問題ですね。部会としてはどのような動きでしたでしょうか。

松山氏

部会としては勉強会や見学会を開いて若い人に出てきてもらうように努めました。視察では、八ッ場ダムの視察なども勉強になりましたね。ダムの必要性に痛感した。草津温泉、イオウ水を真水に浄化する施設設備に感心しました。

鈴木氏

若い世代の育成が急務ですからね。金融財務業部会ではどうでしょう。

河内氏

県内の景気については、全般に持ち直しの動きがみられているが、県北地域においては、現状の景気判断はマイナスであったり、先行きも横ばいの判断であるなど今一步であると言えます。そうした状況下、金融機関としては資金面の対応だけでなく、新事業・創業支援をはじめ、総合金融機能を発揮して地域活性化に役立って行かなければならないという課題があるのが現状です。

鈴木氏

県内の地域に格差があること、経済活性化が課題なんです。

部会としてはどうでしょう。



金融財務業部会 河内潤氏
株式会社常陽銀行 執行役員日立支店長

河内氏

金融財務業部会については、他地域の視察実施などを通しての情報提供や、資金面では、国・県・市等の制度融資の説明会などの機能提供をさせていただいています。

今後、金融機関は資金面の機能はもとより、経営力や人材力の面でもお役に立っている機能提供を強化していかねばなりません。企業の事業創出・承継、技術革新、また、技術革新や販路拡大支援を含め、顧客ネ

ットワークを活用するとともに、産・学・官+金融機関といった構図の中で、コンサル機能を一段と発揮して行く良い機会であると思っております。

鈴木氏

ありがとうございます。金融業のサービスも変わってきているということですね。商業部会、観光環境業部会、文化産業部会は直接一般の方と接する機会の多い業種ですがどうでしょう。

猿田氏

消費税の問題をどう対応していくかに頭を悩ませています。また、少子高齢化についても先が見えないという事、もうひとつの問題は、インターネットです。例えばある電気屋さんで品物の性能や価格を聞いて、購入はインターネットとな

りますから、店舗は苦戦しています。部会として、各地区から会議所の議員さんが出ているので、意見をまとめながら各商店会の支援を行っています。会議所の活動を広くPRしてますので、金融関係とか融資を最優先としてやっているのは助かっています。

高濱氏

飲食関係も消費税の問題をどうするか話が出ています。消費者の意欲が低下している中で更に冷え込まなければいいのですが。部会



観光環境業部会 高濱秀夫氏
株式会社金馬車 監査役

としてはドリンクラリーが定着し、今年は日立・多賀・大みかと3地区で実施しましたが、例年並みの人出で賑わいました。

小沼氏

文化産業部会は不動産業・各種教室(そろばん・英語塾)・療術業などのような業種の集まりで広く異業種の方、第3次産業(サービス業)が多いです。やはり来年の4月から消費税が8%に上がるということについては、皆さん戦々恐々としています。また、少子高齢化には、学校関係は苦勞している。不動産業界も震災以来土地の下落がひどい状況が続いています。部会では毎年、異業種交流会をしています。異業種の方の商売のやり方を発表してもらったり、公開討論したり、自分に役立つことを

学ぼうと毎年やっています。会員の交流という事で、日帰りの視察研修が多いのですが、他の商工会議所を見学したりしています。

鈴木氏

消費税、少子高齢化問題と商業、飲食業、サービス業には厳しい状況が続いているようですね。



工業部会 宮本洋治 氏
久慈鉄工協同組合 代表理事

宮本氏

製造業自体は、先が読めず大変な一年でした。工業部会では大きな事業をふたつしました。ひとつは、日

立市産業支援センターを活用して受注を取るシステムを作ったこと。もうひとつは日立地区製造業活性化協議会を作りしました。代表は会頭と市長で各方面に要望活動を行うのが目的です。どちらもまだ始まったばかりでこれからという状態です。先行きは分からないなかでピンチをどうチャンスにできるかが課題です。

鈴木氏

ピンチをチャンスにしていく。街や業界が衰退していくこの時代、市長や会頭にもセールスの一役を担っていたかどうかという点でしようか。市長や会頭が率先して動いてくれるのは心強いことですね。

大弥氏

交通運輸業部会の物流関係は、今年前半は大変厳し

い状態でした。

下期は、消費税の話が決まり、モノを作り始めたことで、トラックが動き始まって、逆に急にモノを作り始めたので、トラックが足りなくなってしまうている。どこもトラックが間に合わない状況です。

加えて、若い人の成り手が少ないというダブルパンチです。バス関係は、BRTが出来ましたが、まだ始まったばかり。業界としては全体的に厳しい現状です。部会としては、被災地を



交通運輸業部会 大弥則行 氏
株式会社日立物流東日本営業本部 総務部長

見学して、まだ、復興は進んでいないんだなと実感してきたところです。

鈴木氏

BRTはこれから鮎川まで繋がりますが、やはり日立まで繋がってほしい。日立まで繋がれば状況は変わるのではないのでしょうか。では2014年の業界の展望をお聞かせ下さい。

松山氏

現政権により色々な施策が講じられ、少なくとも良い方向に向かうのではと思います。建設業についてもオンラインピック、茨城国体にむけていろんな施策を打っていた。ただける状況になると思います。適正な価格で地元企業に受注できるようにすることになるよう、部会としても活動していきたい。地元で活動する業者の活用を

お願いしたい。部会としては、いろんな研修会・見学会の実施と技術者の確保、特に人材育成は大きな課題ですので、少子高齢化の時代ですが、若い人に建設業に携わっていただく活動をしていきたいです。

鈴木氏

地元で還元できるようになってほしいですね。続いて金融財務業から各部会の展望をお願いします。

河内氏

金融業界としても、部会としてもスピード感をもった対応が肝心となると思います。従来の金融業の枠にとらわれることなく、各地域でいろんな施策をやっているの、他の成功しているもの、日立と同じ環境でいるところで具体的な好事例をデータ収集しながら取

り入れていきたい。また、中央公共団体等の横の連携の部分のなかで色々な工夫をしながら連携した形で企業・行政・金融機関とタイアップした形での機能が発揮できれば理想的かなと思います。他の地域での先行好事例を参考にしながら部会の命題に活用して行きたい。

宮本氏

製造業はまだ大きな環境変化があると思います。その変化のなかでどう生き残れるか。部会としては高校生のインターシップ事業を交通運輸業部会にも参入してもらい実施していますが、今度は、大学生にも今年から本格的にやってみようと考えています。

大弥氏

交通安全、事故防止というのは当然なことですが、



商業部会 猿田 操氏
有限会社猿田商事 代表取締役

環境に配慮した物流、旅客、整備などの専門サービスの存在を高めていかなければならないかなと思います。また、外国人の活用も考えていきたい。東南アジア・ベトナム・インドネシアなど優秀な学生がいますので、そこに目を向けてもらいたい。

鈴木氏

建設業も含め若手技能者の育成が急務ですからね。インターシップで地元の中小企業がいいなあと学生が思えば、地元の企業に就職

するでしょう。外国の方も含めて優秀な人材は地元企業に就職して欲しいですね。猿田氏 地域の魅力、ブランド力、個店の魅力、カアップと各商店の連携を進めながら街全体の魅力をあげていきたい。また、これは願望というか夢になるかもしれないですが、少子高齢化の波がなかなか止められないなかですので、新しい産業を興す必要があるのではないのでしょうか。新しい産業が出来れば雇用が増える。発想の転換が必要でしょう。

高濱氏

地元の魅力、ブランド力としては茂宮のかぼちゃや白菜もあります。海産物とあわせて日立の味としてどんどん提供していきたい。

部会としてもドリンクラリを今までの経験と反省を踏まえて更にレベルアップしていきたい。2014年は市内の経済環境が大きく変わろうとしています。この変化に対してどうチャンスをつかむか。それぞれの知恵を結集して乗り越えていきたいと思えます。



文化産業部会 小沼淳志氏
株式会社ジュン・ホーム 代表取締役会長

策として再生エネルギー開発産業への参入、世界各地で頻発する大地震、大洪水、大干ばつ、巨大台風、巨大竜巻、食糧大飢饉などに対応するビジネスが求められてくると思うので、5割の成功確率があれば、こういったビジネスに参入して活路を見出していくほかないと思っております。

鈴木氏

小沼氏 これからは高齢者の方がどんどん増えていきますので、高齢者向けのシルバードルビネスや、地球温暖化対策として再生エネルギー開

日立にも名物、名産品がたくさんありますから、日立のブランド力を活かしていきたいですね。従来の考え方にとらわれず、皆の知恵を結集すれば出来ないことはないでしょう。商工会議所の各部会、全業種が連携しながらチャンスをつかんでいきたいですね。アイデアを出し合って明るい日立を築いていきましょう。長時間ありがとうございます。



12月の常議員会

常設5委員会の委嘱を承認

12月25日、当所で常議員会を開催しました。

協議では、11月の新会員(別記)を承認。続いて平成25年期常設5委員会委嘱(案)を協議し承認しました。当所には、目的達成に必要な重要事項を調査研究するために5つの委員会(運営、会員サービス、産業振興対策、情報化、観光)が組織され、議員全員と女性会、青年部から推薦を受けた5人が各委員会に所属することになっています。

報告では、友部副会長から日立地区製造業活性化協議会要望活動について、田山専務理事から平成26年新春講演会

開催について、櫻井事務局長から日立駅情報交流プラザにおける物産等の販売に関する覚書の解除について、それぞれ説明がありました。また、青年部赤津会長から青年部創立30周年記念事業及び記念式典についてお礼の挨拶がありました。

新入会員紹介

ぐつと楽

(カイロプラクティック)
日高町5-2-15

釜めし処みなみ(飲食業)
河原子町3-29-24

(有)オノチ(飲食業)
城南町2-1-1 売店棟
2Fレストラン幹

(有)かみーら(介護事業)
鮎川町1-5-12

Macrobiotic
TSUBAKI(飲食業)

大みか町4-16-10

東屋(飲食業)

久慈町3-10-10

久慈町4-1-17

久慈町4-5-11

みなと町7-2

常設5委員会正副委員長

運営委員会 (敬称略)

委員長 沢畑 正剛

副委員長 日立土木株式会社
小泉 裕樹

副委員長 有限会社カワイ
瀬谷 益之

副委員長 日立地区通運株式会社

会員サービス委員会

委員長 郡司 洋子

副委員長 あゆみ珠算塾
白土仙一郎

副委員長 株式会社白土工務店
川崎 健輔

副委員長 有限会社辰巳タクシー

産業振興対策委員会

委員長 武土 洋一

副委員長 株式会社旭製作所
水出 浩司

副委員長 株式会社日立製作所
電力システム社日立事業所
松山 圭吾

副委員長 株式会社たちひちエム商事

情報化委員会

委員長 武田 太志

副委員長 株式会社葉匠たけだ
清水 朋彦

副委員長 丸善電機工業株式会社
梅原 郁夫

副委員長 梅原材木店

観光委員会

委員長 三澤 俊介

副委員長 藤和建设株式会社
澤入 敏雅

副委員長 株式会社カードケアピース
前島 康



挨拶する赤津伸介会長



南部地区の各商店会代表者と会議所活動等について意見交換

商工会議所の動き 12月

- 12月 4日 日立市記者クラブとの懇談会
正副会頭会議
茨城大学との事業連携に関する懇談会
消費税転嫁対策セミナー
観光環衛業部会議員協議会
- 12月 7日 ふるさと日立検定合格者の集い
- 12月10日 プリザーブドフラワー講習会
- 12月11日 金融財務業部会議員協議会
- 12月12日 情報化委員会部会長座談会
- 12月18日 会員サービス委員会
青年部創立30周年記念式典
- 12月20日 監事会
- 12月25日 常議員会
- 12月26日 南部地区懇談会

会議所インフォメーション

TEL 22-0128 FAX 22-0120

経営革新等支援機関に認定されました



当所は10月28日付けで、国から中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」に認定されました。

○経営革新等支援機関

中小企業が安心して経営相談等が受けられるために、専門知識や、実務経験が一定レベル以上の者に対し、国が認定することで、公的な支援機関として位置づけられています。

こんな悩みを抱えている方、ご相談ください！

▶自社の経営を「見える化」したい

企業に密着した、きめ細かな経営相談から、財務状況、財務内容、経営状況に関する調査・分析を行います。

▶事業計画を作りたい

経営状況の分析から、事業計画等の策定・実行支援を行います。

▶取引先を増やしたい 販売を拡大したい

経営革新等支援機関のネットワークを活用して、新たな取引先の増加や販売の拡大に向けてお手伝いします。

▶専門的課題を解決したい

海外展開を考えている、知財管理が不安…。専門的な知識が必要な場合には、最適な専門家を派遣し、経営革新等支援機関と一体となって支援します。

▶金融機関と良好な関係を作りたい

計算書類の信頼性を向上させ、資金調達力の強化に繋がります。

※信用保証協会の保証料が減額されます

経営革新等支援機関の支援を受け、事業計画の実行と進捗の報告を行うことを前提に、信用保証協会の保証料が減額(▲0.2%)されます。

●問合せ 経営相談課●

確定申告無料相談のご案内

今年も所得税・消費税の確定申告無料相談受付を行います。

受付期間

3月3日(月)から3月17日(月)まで

【相談受付は土日を除く 9時30分から15時30分】

※所得税の申告期限は3月17日(月)まで

※消費税の申告期限は3月31日(月)まで

※詳細は2月号に入るチラシでご確認下さい

受付会場

・日立商工会議所会館4階

・大久保交流センター(多賀市民プラザ内)

※大久保交流センターでの受付は

3月3日(月)から7日(金)までの5日間

●問合せ 経営相談課●



生命共済キャンペーン 実施中!!

当所では現在「生命共済(さくら共済)」を広くお知りいただくことを主な目的に生命共済キャンペーンを2月28日まで実施しています。

期間中アクサ生命担当職員と当所職員がお伺いの際には、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

○生命共済の特徴

会員限定の共済で、業務上・業務外を問わず24時間保障されます。

また、毎年収支計算し、剰余金があれば配当金としてお返しいたします。

○月額掛金

1口あたり

1,200円~2,270円

(年齢に応じ掛金が異なります。)



○保障内容

1. 所定の不慮の事故により死亡されたとき。
死亡保険金…380万円(1口あたり)
2. 所定の不慮の事故により所定の高度障害状態のいずれかになられたとき。
高度障害保険金…380万円(1口あたり)
3. 所定の不慮の事故により5日以上入院されたとき
入院給付金…1日につき3千円(1口あたり)

○当所独自の給付制度

病氣入院見舞金・不慮の事故による通院見舞金・成人祝金・結婚祝金・出産祝金

●問合せ 日立商工会議所 会員サービス課 Tel 22-0128

[福祉団体定期保険引受保険会社] アクサ生命株式会社 日立営業所 Tel 21-5387

